



2020-2021年度R.I.テーマ
ロータリーは機会の扉を開く



2020-2021年度 宇多村海児会長

第2850回 例会
2020. 11. 5

会長あいさつ

週報 No.2155
発行 2020年 11月 19日
2020-2021年度
会長 宇多村海児
幹事 深澤 圭司
副会長 斎藤 修弘
副幹事 長沼 大策
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 坂 佳三

皆さん、こんにちは。本日も例会にご出席いただきありがとうございます。昨年11月に上尾RCのLINEグループに、黒い背景に白い文字で「LOS ANGELES NOVEMBER,2019」という画像を投稿しました。これはS.F.近未来映画の金字塔『ブレードランナー』のオープニングシーンのスクリーンショットです。この映画の美術を担当したのはシド・ミードというデザイナーです。映画が作られたのは1980年代ですので、約40年後の世界を彼はあのように思い描いていたのかなと思います。2019年の現実の世界では、空飛ぶタクシーは実現していませんが、空想の世界と現実とがぴったり合うことがあります。それは2019年の世界の、大気汚染、環境破壊といった中で人類は暮らしていかなければならないということです。40年先というのははるか彼方の話ということで先のことはイメージしづらく、あやふやなものになってしまいますが、我々としては未来に向けての記憶を持続させていかないとけない点もご紹介します。本日、大塚崇行会員の卓話にもご紹介します通り、来年には、東日本大震災から10年経過することになります。忘れてはいけないことに加えて準備をしていかなければいけないというところで、未来への記憶を持ち続けることが大事なのだろうなと思っております。津波記憶の建立についての卓話をたいへん楽しみにしています。会長あいさつは以上です。本日もよろしくお願ひいたします。

ゲスト

2020 学年度
ロータリー米山記念奨学生
トウ シンヨウ
修 針叶 さん

行事予定

11月26日 武重秀雄会員
米寿祝

幹事報告

深澤 圭司幹事

◇11月のロータリーレートは1ドル＝104円です。
◇次回例会は11/15地区大会に振替です。
◇11/12夕方に、なすびで会長会が開催され、次年度の副幹事が決まります。
◇本日は「津波防災の日」です。大塚会員の卓話テーマと合っています。



新会員 入会式

新会員紹介 大塚崇行カウンセラー

新会員、田代真吾さんのご紹介をします。1983年(昭和58年)生まれ、37歳という若い会員です。会社は合同会社Lupinus(ルピナス)でセブンイレブンの上尾上町一丁目店、平方領々家店の経営をされています。上尾西RC・川田淳也さんから紹介され、お住まいは北本ですが、上尾に店舗があるので上尾RCに入会となりました。バイタリティ溢れる方ですので、どうぞよろしくお願ひいたします。



襟ピンバッジ授与



新会員あいさつ 田代真吾会員

皆さん、はじめまして。本日、上尾RCに入会することになりました。ご承認いただきありがとうございます。事業は先ほどご紹介いただいたように上尾で2店舗のセブンイレブンを経営していて、12月に、いなげや上尾春日店跡地に3店舗目がオープンする予定です。これからがんばっていきますので、何卒よろしくお願ひいたします。

ロータリー米山記念奨学金授与

2020 学年度 ロータリー米山記念奨学生 修針叶さん



皆さん、こんにちは。私は目が悪くてコンタクトを付けています、今、卒論作成で毎日忙しく、研究室でパソコンをずっと見ていたら麦粒腫(ものもらい)になってしまい、右目が腫れてしまいました。まばたきをするだけでも痛かったので、昨日一日、目を使わず休みました。今朝は腫れも引き、痛みも減りました。皆さんも目を大事に使い、気をつけていただければと思います。ありがとうございます。

例会主題 会員卓話

東北復興支援事例「津波記憶石建立事業」
大塚 崇行 会員

皆さん、こんにちは。このテーマで卓話するのは2回目になります。1回目は7年前、2013年8月にお話しし、また昨年度の地区では部門セミナーで20分ほどお話ししました。

これは私が所属している全国優良石材店の会(全優石)の中で進めている事業です。東日本大震災から10年経つことになります。皆さんもその時のことは鮮明に覚えているのではないかなと思います。私はその時、全優石の第1回常任理事会の最中でした。目黒で被災し、その日は帰れず、夜中3時にタクシーが拾え、5時間かけて家に帰りました。常任理事会には仙台から来ていた方が2人いて、現地と連絡がとれなくなり、新幹線では帰れず、全優石の車を借り22時間かけて帰りました。第2回目の常任理事会は被災した仙台で4月22日に行いました。石巻市、女川町を回って、宮城県東松島市の、被災した尾形石材工業株式会社にお訪ねしました。この石材店さんでは社長の弟の専務さんと、その長男・長女の3名が津波で亡くなりました。訪問してお線香をあげた時に娘さんの遺影の写真に見覚えがありました。お母さんに話を聞くと、その娘さんが亡くなる前に看護師の試験を受けていて、亡くなった後に合格が判明しましたが、通常はその場合、合格証書は発行されないのですが、今回は特別に発行され、それをお母さんが受け取るということがあり、それをテレビで放映したのを私が偶然目にしていました。この話は『かれぎの中で本当にあったこと』という本の「看護師の夢、母に託した合格証書」で紹介されています。この本の中でお母さんが残した「震災の真実を100年後も200年後も伝えてほしい

Rotary ROTARY CLUB OF AGEO

亡くなった多くの人たちの為に。同じことが二度と起らないように」という言葉が印象的で、私たちは石材のプロ集団だからこそできる被災地への復興支援を行いたいと考えました。

岩手県宮古市姉吉地区に「津波石」という昔ながらに建っている大津波記念碑があります。明治29年三陸沖地震、昭和8年の昭和三陸沖地震この地区では明治2名、昭和4名しか生存者がいなかったのが標高60m地点に「ここより下に家を建てるな」と刻まれています。東日本大震災では標高38.9mまで津波が来ていますが、この地区はそれより高い場所にあったので大丈夫でした。私たち全優石は、この「津波石」を事業としてやろうとなりました。それが震災から2カ月目です。

震災から3カ月後の2011年6月に石巻市長、気仙沼市長、南三陸町長、女川町長に協力をお願いに訪ねました。津波石は私たちが建てますが、建てる場所が私有地だと、所有者が移転しては残せないで、自治体に寄付する形で、市町村の持ち物にしてもらおうと交渉しましたが、「いい事業ではあると思う」けれど、まだまだ現地は混乱していて交渉が進みませんでした。そのような中、声をあげていただいたのが岩手県釜石市根浜海岸にある宝来館という旅館です。岩崎さんという地域で活発に動いている女将が、私たちの事業を聞きつけて、ぜひ旅館前に津波石を建ててほしいと言ってきました。根浜海岸には以前から石碑があったのですが、津波によって土で、その上だったら建てて良いと釜石市から許可が得られ、2011年9月、震災から6カ月後に津波記憶石1号基を建てることができました。1号基はアートディレクターの浅羽克己さんが無償でデザインしてくださり、北海道の山崎さんが石材提供と建立工事をはり無償で行っていただきました。津波記憶石は基本的に全優石がお金をすべて出し、津波の被害を受けたのが500kmの沿岸に及びますので、500基建つという構想でスタートしました。1号基の除幕式は、メディアもかなり来て大きく報道してもらいました。

次に2号基です。気仙沼市小泉地区、小泉小学校駐車場に建てたいと依頼がありました。4.5m、14トンという巨大な石は、四国の大島石で、採掘している青山(せいざん)石工房さんが提供して



津波記憶石 1号基
2011年12月9日
完成除幕式
デザイン 浅羽克己氏



津波記憶石 2号基
2012年3月
気仙沼市小泉地区
小泉小学校駐車場

くんだり、加工して運搬もしていただきました。ここにはタレントの間寛平さんが東北復興マラソンの中継地点に訪れ、記念撮影をしました。小泉地区ではこの場所できざまなイベントが行われ、地域の復興の要のようになっています。

3号基は1号基と同じ釜石市の唐丹地区で私がプロジェクトのコーディネーターを務めました。ここには5枚の石碑があります。正面に地域の子ども達90名に考えてもらった文字を刻みました。当初、優秀な作品だけを刻もうと考えていたのですが、優秀な作品が素晴らしすぎてしまったというので全てを刻みました。この石は当社も協賛し、(株)大塚(上尾市)と裏側に刻み記念に残る石になっています。あとは大きな石碑ばかりではなく、15cm角の石柱型津波石を22基、釜石市唐丹地区に建てました。

26基目は大船渡市三陸町綾里駅前建てました。27基目は大船渡市吉浜「奇跡の集落」に建てました。28基目は女川町で、中学生が私たちとは別に21基の石を建てる「女川いのちの石碑プロジェクト」をクラウドファンディングで展開していて、そこをコラボレーションしてその中の1基を建てました。29号基は青森県八戸市多賀多目的運動場(ダイハツスタジアム)内にシンボリックな石碑を建てました。ここはライオンズクラブの寄付をいただいで建てています。ロータリークラブからの



津波記憶石 3号基
2012年7月
岩手県釜石市唐丹町
コーディネーター

被災した子供たちのメッセージ
・100回逃げて、100回来なくても、101回目も必ず逃げて。
上野菜璃 中学2年
・悲しくて前を向くことが出来ない時は無理をせず横を向いて下さい。
いつでも仲間や家族が一緒に居ます。
松山祥子 中学3年



大船渡市ライオンズクラブ 50周年記念実行委員会
から50万円の寄付をいただき建立。
ロータリークラブからの寄付も嵐井とも宜しくお願ひ致します。

寄付も是非よろしくお願ひいたします。30・31号基は八戸市内に石柱型を建て、32号基は気仙沼鹿折地区に、33号基は大船渡市赤崎地区に建てました。ここでは地区の中学生にデザインをしてもらい、除幕式には歌を歌ってもらいました。直近で建てたのは34号基です。宮城県南三陸町の復興記念公園内に建て2019年12月17日に除幕式を行いました。防災庁舎を見下ろす復興の丘に建てられた津波記憶石には南三陸で亡くなった方800名の方の名簿が中に納められています。現在はコロナで事業が止まっています。2018年には復興庁からこの事業に対して感謝状をいただきました。

東日本の被災地へ行くこと自体が復興へのお手伝いとなります。その際には是非とも津波記憶石を通るルートを通っていただければと思います。例えば、第1号基の前の宝来館のある鶴住居地区は

ラグビーワールドカップが行われた釜石鶴住居復興スタジアムの直ぐ近くです。3号機はそこから車で20分です。30万円の寄付をすることによって石碑に寄付者の名前を刻むことが出来ます。クラブの周年事業に合わせて企画をしてみても如何でしょうか?除幕式へも出席することが出来ます。被災地に復興のお手伝いをした記録を残すことが出来ます。受けた恩を石に刻む。但し、年間に1基か2基なのでタイミングがあります。詳しくはお問い合わせください。本日はご清聴いただきありがとうございます。



スマイル 大塚会員、卓話を披露いただきありがとうございます。

宇多村会長/深澤幹事/斎藤副会長/長沼副幹事/小林会員/村岡会員/
大木保司会員/大塚崇行会員/島村会員/藤村会員/齋藤哲雄会員/
樋口会員/丹井会員/坂会員/関口良康会員/山崎会員/田代会員

出席率	
会員数	38
出席数	22
欠席数	16
	57.89%

